

右件厨子、略中 天皇、統持 傳賜藤原宮御宇大行天皇、武文

〔萬葉集一〕藤原宮御宇天皇、武文 代

大行天皇、武文 幸于難波宮時歌、略下

〔日本後紀十三〕大同元年三月丙戌、上謂公卿曰、略中 報曰、大行天皇、武桓 聖德弘茂、海內清平、略下

〔文德實錄一〕嘉祥三年四月己酉、公卿上啓曰、略中 大行聖帝、明仁 明齊日月、道括乾坤、略下

〔三代實錄一〕清和天安二年九月三日辛酉、是日大行皇帝、德文 晏駕之後、始盈七日、遣使於近陵諸寺、各修功德、

〔日本紀略一〕醍醐延長八年十月十日庚子、奉葬大行皇帝、醍醍 於山城國宇治郡山科陵、

〔日本紀略四〕村上康保四年六月四日辛酉、奉葬大行皇帝、上村 於村上山陵、

〔百練抄十五〕後嵯峨仁治三年正月廿日、踐祚、略中 諸卿群參大行皇帝、略四 御在所、院院 奉三種寶物、被參新帝御所、

〔弘化諒闇記〕弘化三丙午歲二月六日、先帝、孝仁 追而被奉御諡號迄、被稱大行天皇之旨、被仰出、

〔嘉永明治年間錄十六〕慶應三年正月、周防守殿、平老中松 渡書付、先帝、明孝 御諡號迄、奉稱大行天皇候事、

〔革命勘文〕一高野天皇、德稱 改天平寶字九年為天平神護元年之例

謹案國史、略中 遠履太祖神武之遺蹤、近襲中宗天智之基業、當創此更始、期彼中興、建元號於鳳曆、

施作解於雷散、略下

〔神皇正統記仲哀〕太祖神武より、第十二代景行までは、代のまゝに繼體したまふ、

〔神皇正統記天智〕此天皇、中興の祖にまします、

〔菅家文章七〕崇福寺綵錦寶幢記

太祖中宗